

ニュース & トピックス

志賀原子力発電所における津波等に対する安全強化策について

平素は当社の事業活動につきまして格別のご配慮を賜り厚くお礼申し上げます。
 当社は東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故を受け、「電源確保」、「冷却機能の確保」、「発電所敷地内への浸水防止」等の観点から、志賀原子力発電所における津波等に対する「安全強化策」を着実に実施しております。
 そのうちの「緊急安全対策」を平成23年4月までに完了し、また、一層の信頼性向上を図るための「更なる対策」につきましては、一部を除いてほぼ完了いたしました。
 引き続き、志賀原子力発電所のより一層の信頼性向上に向け、安全対策に全力で取り組んでまいりますので、皆さまのご理解を賜りますようお願い申し上げます。

■安全強化策の進捗状況(平成25年9月末現在)

安全強化策		進捗状況
緊急安全対策(平成23年4月中に完了)		完了
更なる対策(下記項目)		
電源確保	非常用電源(大容量)の配備	完了
	外部電源早期復旧による所内電源の確保	完了
	外部電源の信頼性確保	完了
冷却機能確保	浸水した原子炉補機冷却系ポンプの機能回復手段の整備	完了
	水源の多様化	
	・大坪川ダム水取水用の水中ポンプ、ホース等の配備等	完了
	・復水貯蔵タンク、トレンチの耐震信頼性向上	一部完了
	・耐震性貯水槽の追加設置	完了
	原子炉補機冷却海水ポンプ代替品の配置	完了
	消防車追加配備(計3台)	完了
	ディーゼル駆動消火ポンプ燃料タンク大容量化	完了
	配管等の耐震裕度向上	完了
	格納容器ベント専用電源の設置	完了
その他強化策	防災施設・資機材等の強化	
	・緊急時対策棟の設置	運用開始※
	・防災資機材専用倉庫の設置	完了
	・モニタリング設備の強化	完了
	・個人線量計の追加配備、高線量対応防護服の配備	完了
	・構内主要アクセス道路の補強	完了
	・復旧作業用クレーン車の常設	完了
	がれき撤去用重機の配備	完了
原子炉建屋水素排出設備の設置	完了	
緊急時協力会社集合棟の設置	準備中	
敷地内への浸水防止策	防潮堤の構築	完了
	取水槽及び放水槽廻りへの防潮壁の設置	完了
	浸水対策の強化(扉の水密化、配管貫通部の水密性強化)	完了

※引き続き、遮へい機能の強化について検討中



大容量電源車の配備



防潮堤の構築



取水槽及び放水槽廻りへの防潮壁の設置



防災資機材専用倉庫の設置



●志賀原子力発電所イメージ図

防災施設・資機材等の強化

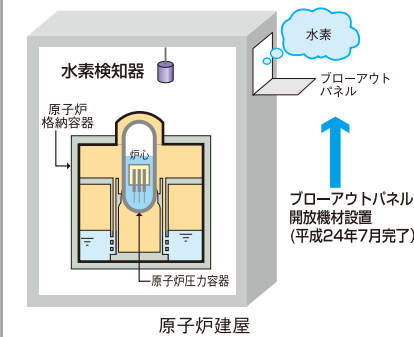
緊急時対策棟の設置(免震構造、独立電源、除染施設等):平成25年9月運用開始



緊急時対策棟

原子炉建屋水素排出設備の設置

水素検知器の設置:平成25年8月完了



原子炉建屋

外部電源の信頼性確保

すべての送電線(志賀中能登線・志賀原子力線・赤住線)から1・2号機へ直接電気を供給できるようにしました。
 :平成25年8月完了



送電線(志賀中能登線・志賀原子力線・赤住線)

■各種訓練の実施

大規模災害により電源や冷却機能が喪失した場合などを想定し、日中や夜間、さらに厳冬期などにも、緊急時に的確な対応ができるようにさまざまな訓練を続けています。

平成25年度(8月末)訓練実績:225回

これまでに、各種訓練を900回以上行い、安全強化策の実効性を高めています。



消防車による送水訓練



大容量電源車による給電訓練



緊急時環境放射線モニタリング訓練

志賀原子力発電所敷地内シーム追加調査計画の変更について

当社は、平成24年7月18日、原子力安全・保安院からの「敷地内破砕帯の追加調査計画の策定について(指示)」に基づき、7月25日に「追加調査計画」を報告、平成24年8月10日より調査を実施してまいりました。

平成24年12月7日及び平成25年6月6日には調査結果を、原子力規制委員会に報告しております。

現在、平成25年6月25日に提出した追加調査計画に基づき、敷地内シームと周辺断層の関連性に関する調査及び発電所敷地周辺の小規模な断層の活動性に関する資料のとりまとめを実施しているところですが、更なる詳細な調査を実施するため、同年9月26日に最終報告時期を9月末から12月下旬へ変更した計画を原子力規制委員会に報告いたしました。

当社は、引き続き、徹底した調査に取り組み、志賀原子力発電所の安全性・信頼性の更なる向上に努めてまいります。

「安全強化策」「敷地内シーム追加調査」の詳細については当社ホームページに掲載しております。<http://www.rikuden.co.jp/>